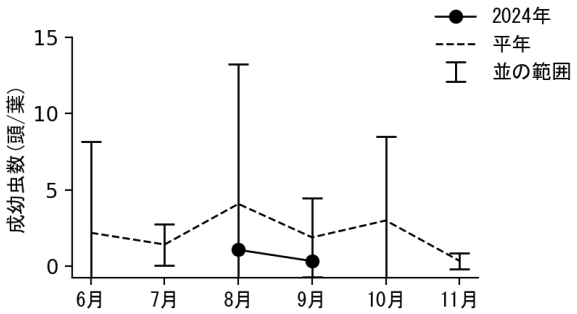
令和　6 年度　10 月予報

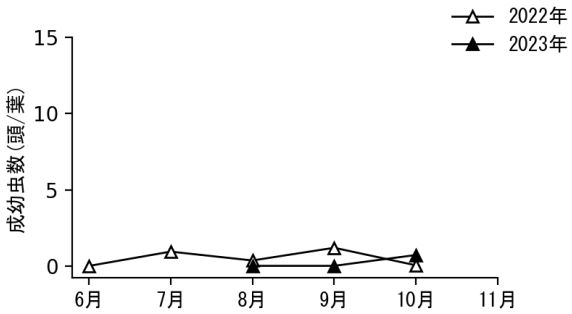
作物	マンゴー	地域	宮古群島
病害虫名	① チャノキイロアザミウマ		
調査結果	9 月の発生量（平年比）	並	
予　報	9 月からの増減傾向	↗	
	10 月の発生量（平年比）	並	
予報の根拠		平年の発生量の推移（↗）	

調査結果

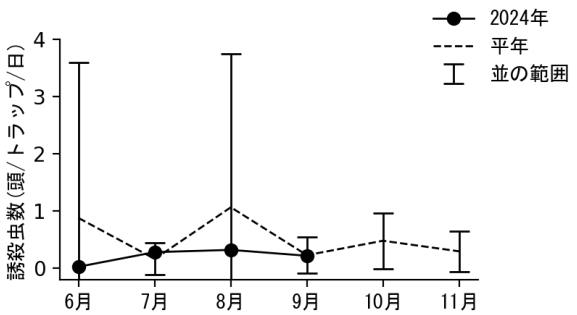
葉当たり成幼虫数の推移（今期と平年）



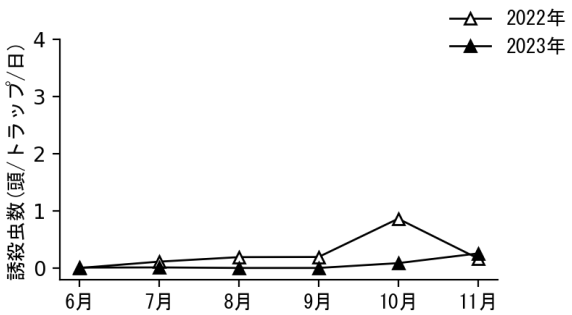
葉当たり成幼虫数の推移（過去２年）



トラップ当たり誘殺虫数の推移（今期と平年）



トラップ当たり誘殺虫数の推移（過去２年）



・発生施設率80.0%（平年：62.0%）

防除のポイント

・不要な新梢は本種の発生を助長するので、早い時期に除去する。
・コミカンソウ類など、発生源となる施設内外の雑草を除去する。
・薬剤抵抗性を発達させやすいので、同系統薬剤の連用を避ける。

ナガエコミカンソウ

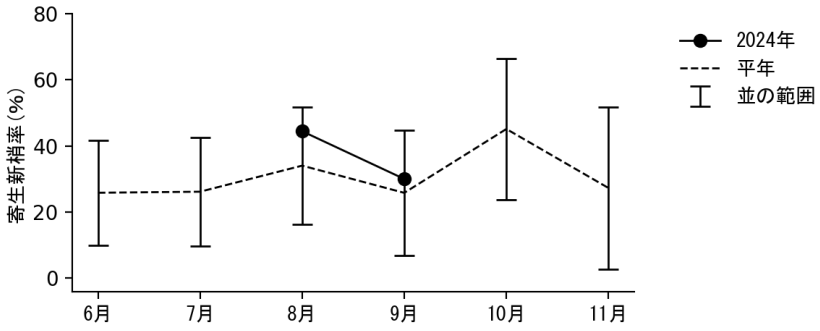
令和　6 年度　10 月予報

作物	マンゴー		地域	宮古群島
病害虫名	② マンゴーハフクレタマバエ			
調査結果	9 月の発生量（平年比）	並		
予報	9 月からの増減傾向	↗		
	10 月の発生量（平年比）	並		
予報の根拠		平年の発生量の推移（↗）		

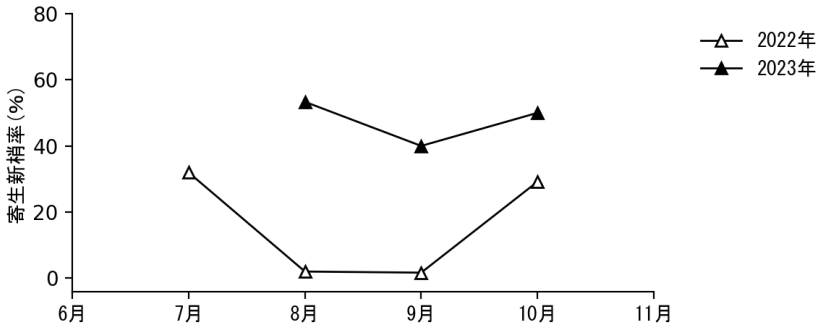
調査結果

寄生新梢率の推移

＜今期と平年＞



＜過去２年＞



・発生施設率60.0%（平年：51.6%）

防除のポイント

・幼虫は、新葉から新梢の軸までの柔らかい組織内に潜行して食害し、成熟すると飛び出し、地面に落下して蛹化する。

・不要な新梢は本種の発生を助長するので、早い時期に除去する。

被害葉

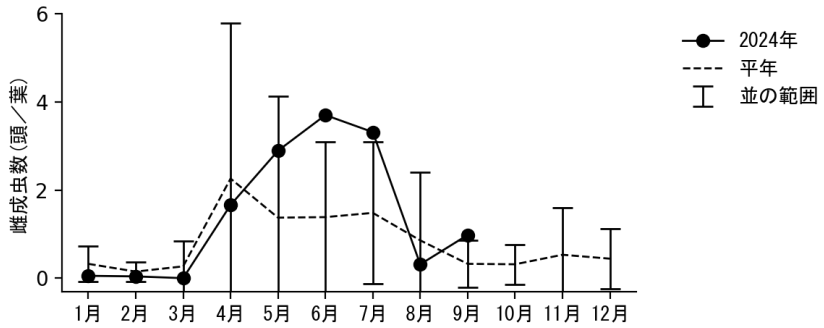
令和　6 年度　10 月予報

作物	マンゴー		地域	宮古群島
病害虫名	③ ハダニ類		シュレイツメハダニ	
調査結果	9 月の発生量（平年比）	やや多		
予報	9 月からの増減傾向	→		
	10 月の発生量（平年比）	やや多		
予報の根拠		平年の発生量の推移（→）		

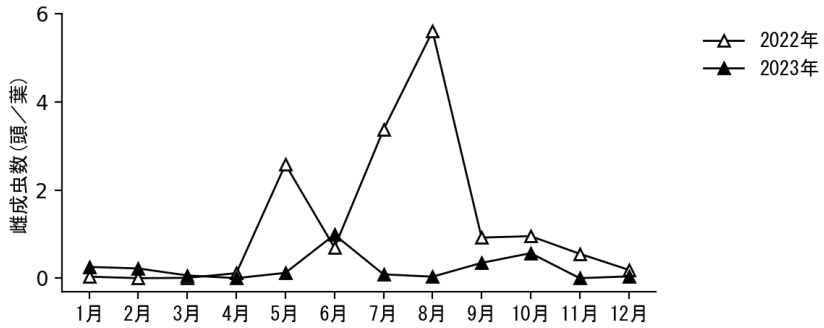
調査結果

雌成虫数の推移

＜今期と平年＞



＜過去２年＞



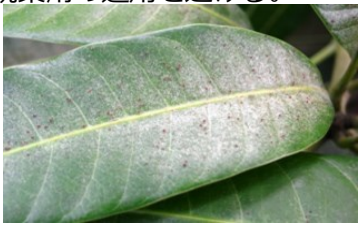
・発生種：シュレイツメハダニ、マンゴーツメハダニ

・発生施設率60.0%（平年：23.5%）

防除のポイント

・多発すると防除が困難となる。特に収穫時、発生が多くみられた施設では、多発する傾向があるため早期発見・防除に努める。

・薬剤抵抗性を発達させやすいので、同系統薬剤の連用を避ける。


ハダニの寄生による葉のかすれ症状

マンゴーツメハダニ